



2024年 6月28日

各 位

会 社 名 株式会社エルアイイーエイチ
(コード番号 5856 東証スタンダード市場)
代表者名 代表取締役社長 福村 康廣
問合せ先 取締役 経理部長 下岡 寛
(TEL. 03-6458-6913)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2024年6月28日に関東財務局に提出いたしました2024年3月期（第20期）の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載しておりますので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、2024年3月期の決算期間中に、会計監査人より以下の指摘を受けました。

- ① 教育関連事業において新規事業を行うにあたり、取締役会決議は経ているものの、財務人員の不足等の理由により事業計画等の策定等が不十分な業務があった。
- ② 期末の固定資産の減損の評価等の業務において、不十分な業務があった。

すなわち具体的には、①教育関連事業においては、今期広告費を336百万円投入し、また教材費用も多額に発生しましたが、これらの事業について、取締役会決議の際の添付資料として、財務人員等の不足等の理由から事業計画等の策定が不十分な業務があり、この点を会計監査人より指摘を受けました。

また、②今期、教育事業関連では、多額の広告費等が発生したため、セグメント利益が赤字となり、翌事業年度の事業計画等の策定も不十分でした。このため、会計監査人より、当社の減損損失44百万円、教育関連事業の減損損失266百万円の計上不足を、期末監査時に指摘を受けました。

以上から、決算・財務報告プロセスにおける内部統制において不備があったと判断し、これらの不備の財務報告に与える重要性を鑑み、開示すべき重要な不備に該当すると判断しました。

しかしながら、すぐにすべてを完璧に是正することは難しく、当該不備を当事業年度末日までに是正することができませんでした。

なお、会計監査人より指摘を受けた事項のうち修正が必要なものはすべて財務諸表及び連結財務諸表に反映しております。

当社グループは、上記内部統制の重要な不備を是正するため、管理体制の充実を図るとともに、予算制度の精緻化を図り、決算・財務報告プロセスを見直し、決算の正確性及び網羅性を維持向上する体制を構築してまいります。

2. 事業年度末までに是正できなかった理由

本件事実の判明が当事業年度末日後であったためです。

3. 開示すべき不備の是正方針

当社は、財務報告の信頼性を確保するための内部統制の整備及び運用の重要性を十分に認識しており、当該不備を早急に解消し、適切な内部統制を整備し運用していく方針であります。

4. 財務諸表及び連結財務諸表に与える影響

当事業年度の財務諸表に与える影響はありません。

5. 財務諸表及び連結財務の監査報告における監査意見

無限定適正意見です。

以上